



国民の森林・国有林

中部森林管理局

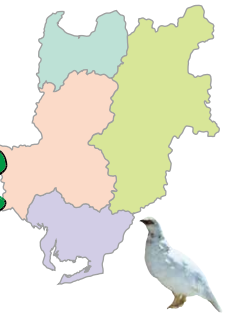
〒380-8575長野市大字栗田715-5

☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

中部の森林



表彰式後の発表者及び審査員の方々(表彰式を欠席された方もいます。)

中部森林技術交流発表会開催

(P 2～6に関連記事)

主な項目	○中部森林技術交流発表会開催	P 2～6
	○桶・樽サミット開催	P 6～8
	○各地からのたより	P 9～10
	○シリーズ「森林官からの便り」	P 11
	○シリーズ「ご当地自慢」	P 12

**「産・学・官が連携して成果を発表」
平成二十五年度中部森林技術
交流発表会を開催**

「技術普及課 一月二十九日から三十日
にかけ、中部森林管理局大会議室におい
て、「平成二十五年度中部森林技術交流
発表会」を開催しました。

この発表会は、管内国有林及び民有林
の行政・教育・研究機関、団体等が、森
林・林業に関する試験研究、技術開発
等、日頃からの取り組みの発表を通じて
交流を図り、地域における森林・林業の
推進と普及に資することを目的として毎
年開催しているものです。

今年度は国有林関係から十二課題、民
有林、学校関係等から十四課題、合わせ
て二十六課題が発表されました。



鈴木局長の挨拶



発表会場の様子

開会に当たり、鈴木局長から『国有林
野事業の一般会計化の初年度にあたる今
年度の発表会は、関係団体等との共同
課題が際立ち、「産・学・官」が連携し、
日頃の研究成果が発信されることは大変
意義深いものがあり、発表会に向けて準
備を進めてこられた発表者の皆さんはも
とより、職場の同僚、学校の同級生、さ
らには指導していただいた先生方には心
から敬意を表す。森林・林業の再生に
向けて、地球温暖化防止をはじめとする
森林の公益的機能の発揮や再生可能な資
源としての木材や木質バイオマス、さら
に農山村地域の雇用を創出する環境保全
型産業としての林業に対する国民の方か

らの期待は大なるものがあると考えてお
り、本日の発表会が民国の連携、あるい
は行政・学術・産業との交流を通じて、
その期待にしっかりと応えられる場とな
ることを祈念する。』との挨拶がありま
した。

この後、国有林関係の発表では、森林
施業、国土保全等の各分野から、関係機
関・団体等と連携した試験研究、事例報
告を中心に、林業の低コスト化や、地域
と協働した取り組みなど、多岐にわたる
課題の発表が行われました。

また、国有林関係に引き続き行われた



審査員の方々

学生・民有林関係の発表では、岐阜県立
森林文化アカデミー、信州大学、長野県
林業大学校、岐阜県立飛騨高山高校、岐
阜県立岐阜農林高校、愛知県立田口高
校、長野県林業総合センター、森林総合
研究所森林農地整備センター中部整備
局、有限会社和建築設計事務所、サント
リーグローバルイノベーションセンター
株式会社水科学研究所からそれぞれの視
点で掘り下げた課題や新たに取り組ん
だ開発課題に対する調査・研究により得
られた成果についての発表が行われまし
た。

二日間の発表終了後、松本森林整備部
長から国有林の部の優秀賞三課題の発表
を行うとともに、各課題の着眼点や効
果、期待する今後の取組みなどについ
て、信州大学農学部加藤正人教授と名古
屋大学大学院山田容三准教授から講評を
いただきました。



加藤正人教授の講評



受賞課題と受賞者は次のとおりです。

今回は、民有林、学校関係等から多くの課題を応募いただき、発表者・聴講者等を含め約三百五十名の参加者により盛大に開催されました。今後とも森林・林業技術の推進と普及に向け、各署等での技術開発、地域と連携した調査・研究など、民有林関係者との共働・協調を深め、その成果の共有と情報発信に積極的に取り組んでいくことにしています。



山田容三准教授の講評

□ 国有林の部

○ 優秀賞

・ 治山ダムにおける県産材コンクリート型枠合板の実証的施工について
 中信署 長濱 健、岡庭敏夫



・ 高齢級人工林ヒノキ

のブランド化について

木曾署 黒澤友大
 木曾官材市売協同組合 鈴木隆志



・ ササ生地におけるコンテナ苗を

活用した更新の試み

森林技術・支援センター 早川幸治



○ 努力賞

・ 伐採と造林の一貫作業

システムについて

北信署 木内重明、森田直宏
 信州大学農学部 大塚 大



・ 白馬岳の山火事跡地の

モニタリング調査について

中信署 有賀 茂

信州大学山岳科学総合研究所

佐々木明彦、高橋耕一、鈴木啓助



・ 間伐材を利用した木製治山ダムの

施工について

南信署 澤口章一、中屋 忍





・急傾斜地における法枠工の経過と
勾配緩和網の導入について
富山署 竹内智絵
日本植生株式会社 秋田好弘



・コンテナ苗の普及に向けた
取り組みについて
南木曾支署 三村晴彦、吉村美美子



・岐阜県恵那農林事務所との連携（恵那
農業高校の国有林等見学の取組外）
東濃署 大野裕康



・民国連携による市町村森林整備計画の
ブラッシュアップについて
（指標林の設定）
飛騨署 日置順昭
岐阜県飛騨農林事務所 中谷和司



・シカの嗜好植物との混植による
ヒノキ苗の食害軽減効果の検証
森林技術・支援センター 千村知博
岐阜大学応用生物科学部 安藤正規



・中部森林管理局管内における
高齡ヒノキ人工林の林分構造
森林技術・支援センター 早川幸治
岐阜県立森林文化アカデミー
横井秀一



・雪害抵抗性品種「出羽の雪」の
試験導入について
富山・岐阜における事例
森林総合研究所
森林農地整備センター中部整備局
河原田裕二



□民有林の部（森林業振興賞）
・CS立体図を活用した作業路の
線形の検証について
長野県林業総合センター 高橋太郎



• 岐阜県東白川村国有林のヒノキ人工林
における水源涵養機能改善に向けた
調査研究
サントリーグローバルイノベーション
センター株式会社 川崎雅俊
筑波大学 恩田裕一、小松義隆



• 木曽ヒノキ材による
超断熱木製サッシの開発
有限会社和建築設計事務所
青木和壽



• 航空機LiDARデータを用いた森林バイオマス推定
岡谷市横川地区を事例として
信州大学農学部
本村亜紀、加藤正人
長野県林業総合センター
戸田堅一郎



□ 学生の部 (奨励賞)
• 長野県西部地震に伴う御岳土石流跡に
おける約三十年間の植生遷移
信州大学農学部
堀井涼香、北原 曜、小野 裕



• 狩猟サミット報告
立ち上がる若手ハンターたち
長野県林業大学校 高津勇佑



• 木質成分のアルコール抽出試験
木材需要拡大への提案
長野県林業大学校 古田啓悟



• 木曽地方三浦実験林におけるヒノキ
天然更新に微地形と土壌が及ぼす影響
信州大学 農学部 森本壮一郎



• 未来へつなぐ森林づくり
岐阜県立飛騨高山高校
瀨瀬 樹、田立達也



• コナラの胸高直径からシイタケ原木と
薪の収穫量を推定する
岐阜県立森林文化アカデミー
田中一徳



・ニホンジカによる林業被害の
対策方法を探る
枝条巻き・テープ巻きの効果の検証
岐阜県立岐阜農林高校
小畑 晃、後藤洋哉



・フクシマの林業従事者が安心して
働ける職場環境づくり
岐阜県立森林文化アカデミー
渡邊篤慶

～ご案内～
中部森林管理局では、これまでの中
部森林技術交流発表会及び、業務研究
発表会等における発表内容を「発表要
旨集」としてホームページの中で紹介
しています。
この機会に是非ご覧ください。
「中部森林管理局ホーム」↓「森林管
理等概要」↓「森林技術センター」↓
「新着情報」で掲載中
[http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/
gijyutu/index.html](http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/gijyutu/index.html)



・間伐材の有効利用
木材燃料「アツマル」の開発と普及
愛知県立田口高校
寺田美里、両星達也



審査員の質疑

当日は、県内外からの一般参加者とも
に、長野県・長野市・関根町村・関係
団体などからの参加があり、約四百五十
名となり、ホール入口に併設された地元
木工品展示ブースは大変な賑わいを見せ
ていました。



トークセッション

「木曽薯」二月六日（木）木曽文化公園
にて「桶・樽サミット」が開催されまし
た。
このサミットは、桶や樽に代表される
木曾に育む木を利用した木製品の普及と
利用拡大を目的に「第十七回森林と緑を
育む集い」の中心行事として開催されま
した。

桶・樽サミット開催される
「木製品復活へ」